

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



～ 市立芦屋病院は今年で創立60周年を迎えます ～

6月15日 新病棟がリニューアルオープン致しました!



市立芦屋病院の基本理念

生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します
芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します

市立芦屋病院の経営理念

あ い(愛)・しあわせ(幸せ)・やさしさ(優しさ)

念願の新病棟が完成し、6月15日に新病棟併せて外来棟、管理棟のリニューアルオープンを迎えました。16日には旧病棟から新病棟へ患者さんの移動も無事行われ、真新しい病院での診療が始まっています。これまで各方面からいただいた多大なご支援に感謝しつつ、職員一同病院の充実に向けてさらに努力してまいります。今後とも芦屋病院の運営にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

芦屋市医師会よりメッセージ

～ 新・芦屋病院に期待する ～



芦屋市医師会 会長 鈴木 紀元 (鈴木小児科 院長)

芦屋市医師会を代表して新病棟の完成をお慶び申し上げます。自治体病院の危機が言われる中で、逸早く機構改革に取り組み、着々と改革を実行し、新病棟完成にまで歩を進められた関係者の努力に敬意を表しますとともに、「あり方委員会」ならびに「評価委員会」の委員として関与させていただいた立場からも感慨深いものがあります。社会構造が大きく変わり、医療の分野もまた大きく変革を求められております。将来を託す病院として新生芦屋病院が、われわれ医師会員とこれまで以上に密接な連携を保ちつつ、新たに設けられた緩和ケア病棟を含め、診療内容をより一層充実させ、芦屋市ならではの独自性を発展させていただくことを願っております。



芦屋市医師会 副会長 北井 明 (北井内科クリニック 院長)

この度は新病棟ご落成、心よりお祝い申し上げます。日頃、芦屋病院には検査等でお世話になっており、多くの患者さんに「芦屋病院では親切にしていた」と感謝されています。

地域の休日の急病について、入院が必要かどうかの難しい判断などを含めた2次救急に、芦屋病院の各科が協力・担当していただいていることは大変心強く思っています。また、病院内の各専門診療分野についても充実してきたように感じ、その中でも、今後必要度が高くなる緩和ケアや在宅治療の支援に力を入れて行こうという病院の姿勢が、地域連携室を通して医療機関及び介護施設のスタッフに伝わってきています。

ここ数年間、工事中の病院はかなり複雑な建物の構造になっていましたが、今回のリニューアルオープンにより、入院、外来及び検査受診が便利になり、より市民の方に安心して利用してもらえる病院になるのではないかと期待しています。

新しくなった新病棟の様子をご紹介します!!



写真と共に新しくなった芦屋病院の新病棟の様子をお届けします。

緩和ケア病棟24床が新設されました!!

新病棟の最上階に要望の高かった24床の緩和ケア病棟を新設しました。緩和ケア病棟は悪性腫瘍の患者さんが療養する為の病棟で、病室は全室個室で、音楽療法や催しなどを実施するサロン、家族と過ごすための家族控室やキッチンが整備されています。

入院中の診療においては緩和ケアの指導医、専従医、緩和薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師など緩和ケアの専門家が中心となったチームで身体的、精神的苦痛症状の緩和を行い安らぎの得られるケアの充実を図っていきます。



緩和ケア外来について

当院の緩和ケア病棟へ入院するには、『緩和ケア外来』での受診が必要です。緩和ケア外来は毎週月曜日と木曜日の午後から診察を行っています。外来を受診するには必ず医師の紹介状が必要です。詳しくは地域連携室までお問い合わせ下さい。

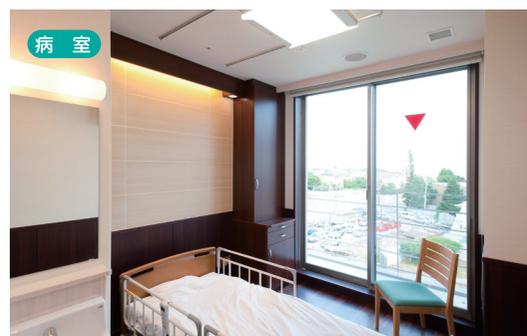
療養環境が整った一般病棟

新病棟に完成した病室は『アメニティの充実』と『プライバシーへの配慮』に重点を置いています。1床あたりの面積が従来より広くなったことでゆったりと療養でき、大きな窓から気持ちの良い光が差し込む明るいお部屋になっています。

『アメニティの充実』として、各病室には液晶TV、インターネット回線、冷蔵庫等が整備されており、お部屋でDVDを楽しむことも可能となりました。

今回の新病棟のもうひとつのこだわりが『プライバシーへの配慮』です。入院患者さんやご家族のプライバシー確保と個性性を尊重し、全病室の3分の2を個室としました。

有料個室には専用のカードキーを導入しセキュリティ面においても安心してご利用頂けます。また、多床室をのぞいて名札表示を廃止しております。お見舞いに来られた方は各病棟のスタッフステーションまでお声をお掛け下さい。



これが芦屋病院の特別室です!!

従来より90%以上の利用率を誇る特別室は、今回52㎡のお部屋を3室、30㎡のお部屋を4室設置しています。琉球畳を使用した和室のお部屋や有名ブランドメーカーによりコーディネートされたお部屋など、様々なタイプのお部屋があり、内装やカーテン、調度品に至るまでこだわった、まさに芦屋といったお部屋が完成しました。



消化器センター

高度な内視鏡処置時には複数のスタッフが関わる為、安全に処置が行える広い内視鏡室を2室整備しています。その隣には鎮静剤を使用した内視鏡検査後にゆっくりとお休みいただく事ができるリカバリールーム（回復室）も設置しています。医療機器においてもハイビジョン拡大内視鏡や小腸内視鏡、カプセル内視鏡等の最新機器を導入しています。

当院では全消化管検査が可能で、なるべく苦痛の無い検査を目指しています。経験豊富な消化器専門医による高度な内視鏡検査・治療を行っており、院内でのシームレスな消化器治療が可能です。

早期胃がんに対するEMR、ESDなどの内視鏡的治療、大腸がんに対する内視鏡的治療、肝がんに対するラジオ波等の低侵襲治療、嚥下障害がある方へのPEG（胃棲増設）など様々な手術に対応しています。



人間ドックセンター

人間ドック専用のセンターでは検査終了後、医師の問診までラウンジでゆったりとくつろいで頂くことが可能となりました。専用キッチンも設置されており、受診の方には管理栄養士が考えた特別メニューの昼食を提供します。9月からは新たな検査項目も加わった「新・人間ドックプラン」（料金:50,000円）もスタートしますのでぜひ人間ドックを受診してください。

知っ得情報♪

芦屋市在住の方で国民健康保険・後期高齢者医療対象の方は人間ドック検査料の半額助成制度があります!!



クリーン&グリーン『環境に優しい緑豊かな病院』へ

新病棟は「クリーン&グリーン」、清潔で環境に配慮された病院をコンセプトに建築されています。

空調設備にはガス・コージェネレーションを採用、太陽光パネルやLED仕様の電気設備が設置され、今後は隣接する公園についても整備を行い、病院敷地内に樹木や緑地を増やし緑豊かな病院が完成します。



新任Drのご紹介



イサカ タイジ
内科 伊阪 大二

経歴紹介

平成8年3月 滋賀医科大学卒業
同年4月 兵庫県立柏原病院勤務(研修医)
平成15年3月 神戸大学大学院医学研究科卒業
同年4月 神戸大学医学部附属病院循環器科勤務(医員)
同年6月 神戸労災病院内科循環器科勤務(医長)
平成20年4月 同内科副部長
平成23年4月 同総合内科副部長

資格

日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本循環器学会専門医
日本医師会認定産業医
日本心臓リハビリテーション学会所属
日本高血圧学会所属

趣味

子供と遊ぶこと、歩くこと、読書

先生から一言!

こんにちは。7月から循環器内科医として赴任しました伊阪です。循環器疾患の急性期治療から慢性期管理まで、幅広いニーズに応えられるよう、地域の先生方と病診連携で協力しながら、市民の健康を守っていきます。いわゆる“心臓”で何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

NEW レストラン & コンビニエンスストアをご利用ください!

芦屋病院に新しいコンビニエンスストアとレストランが完成しました。

レストランは落ち着いた雰囲気のおしゃれなカフェといった感じで、テーブル席に加え、カウンター席やオレンジの parasol がかわい
いテラス席もあります。お天気のいい日はテラス席での食事が気持ち良く、病院の職員もお気に入りによく利用しています。

待望のコンビニエンスストアは街のホットステーションでお馴染みのLAWSON(ローソン)が出店。豊富な品揃えでお弁当やドリンクの他、生活用品や衛生材料なども充実しており、レジ横のミニカウンターでは入れたてのコーヒーを販売しています。また、これまで来院された方にご不便をお掛けしたATMもこの度設置されました。

どちらのお店も患者さんが利用しやすいよう今後も工夫してまいりますので、ぜひ来院の際には新しい2つのお店をご利用ください。



レストラン カフェド ブランシュ 営業時間：午前9時～午後9時・年中無休 全メニューテイクアウト可

コンビニエンスストア ローソン 営業時間：午前7時～午後9時・年中無休 ATM・宅急便・Loppiサービス有 衛生材料の取扱い有

旧南病棟解体工事について(お願い)

当院では来年3月末まで、旧南病棟の取壊しと駐車場棟の建設工事を予定しています。工事に伴い旧南病棟へは立ち入り禁止となっており、**ご来院の方は、外来駐車場、臨時駐車場をご利用の上、平日昼間は外来棟玄関から、休日夜間は救急外来受付から出入して下さい。**

駐車スペースが不足しておりますので、ご来院にあたっては、できるだけ公共交通機関、病院ネットワークバスのご利用をお願いします。

大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

★ 病院近隣の臨時駐車場の他、7月2日(月)より山手町に臨時駐車場がオープンします!!
(山手町臨時駐車場と病院の間を20分間隔でタクシーが送迎します。詳しくはホームページをご覧ください。)



新病棟内覧会を開催しました!!

6月3日(日)、芦屋病院の新病棟内覧会を開催しました。
15日のリニューアルオープン前に市民の皆さんに新病棟の機能や設備等を知って頂くことを目的に行った内覧会、当日は約1,000人の方にご来場頂き新・芦屋病院への関心の高さを強く感じた1日となりました。



内覧会の様子

午前9時、新病院の講堂に職員が集合し、内覧会に来場いただいた方に配布する資料の準備や各フロアの最終確認などを行いました。当日までは、多くの方が内覧会にお越しいただけるのか不安と期待の中で準備を進めてきましたが、開始40分前から、講堂には来場者の姿が…。いまかいまかと開始されるのを待つ来場者の方で講堂内はあっという間にあふれ、予定より15分早く内覧会をスタートしました。

内覧会のコースは講堂をスタートし、人間ドックセンター、屋上庭園、緩和ケア病棟、一般病棟の特別室や総室、その後リハビリテーション室、手術室、消化器センターと続くコースで、部門ごとに配置されている職員が新しい設備や機能についてご紹介させて頂きました。スタートしてすぐの人間ドックセンターは内覧会でも人気のスポットで、4月中旬からすでに先行オープンしており、これまでに実際利用された方の声や検診内容などについてご紹介しました。屋上庭園は目の前に旧病棟が建っているため、眺望については残念ながらあまり楽しめる状況ではありませんが、秋頃には旧病棟がとり壊され、市内や大阪湾を見渡す景色を楽しむことができます。



人間ドックセンター



屋上庭園



病室(総室)

新設の緩和ケア病棟はやはり来場された方の関心も高く、入棟基準や家族控え室についてなど緩和ケアに関するご質問を多く頂きました。一般病棟では特別室や総室をご案内。特別室は部屋の内装から調度品に至るまで有名ブランドメーカーによるトータルコーディネートがされており来場された方々からは驚きの声が多くありました。また、内覧会前に新聞等のメディアで特別室が大きく取り上げられたこともあり、無料の個室や総室も特別室並みの料金がかかるお部屋と誤解されている方が多く見受けられ、これについては正しいご案内をさせて頂きました。



特別室



病棟廊下



各部署スタッフが
ご案内させて頂きました。

内覧会では普段立ち入ることのできないスタッフステーションや手術室なども見る事が可能であり来場された方々も大変興味深くご覧頂いておりました。

6月15日のリニューアルオープンを迎え、新病棟だけではなく外来棟も新しい受付や待合サロンが完成しより患者さんに利用しやすい病院となりました。ぜひ新しくなった芦屋病院にお越しください。

地域医療まもり隊 ～開業医の先生紹介～

第6回

松葉医院 院長 松葉 光史 先生



当医院は父貢が昭和33年7月現地で内科を開業以来、今年で53年目を迎えます。私と芦屋病院との関わりは、母方の祖父が胃潰瘍を患い手術入院した昭和39年でした。小学2年生でしたが、祖父が最後を迎える前、病室に見舞いに行った際の祖父の顔と景色の良さが記憶に残っています。平成5年に父親から継承しましたが、以来多数の救急症例、検査等で芦屋病院には大変お世話になっています。

特に在宅患者さんの急変時にはいつも迅速丁寧な対応をいただき感謝しております。今回病院新築で新しい時代が始まるようですが、数年前から既に人的資源も充実してきており、我々開業医にとって頼もしい陣容だなと感じております。今後も連携強化して芦屋市の医療を担っていきたいと思っています。

なお当医院は一般内科と在宅医療を行っていますが個人的な興味で減感作療法の改良型でアレルギー診療も行っています。

がんフォーラム2012『緩和ケアを学ぶ』

今年で4回目を迎えるがんフォーラム、今年のテーマは『緩和ケアを学ぶ』です。緩和ケアとはがんに伴って起きるさまざまなつらさをやわらげるためのケアであり、体のつらさ、心のつらさ、生活のつらさなど様々なつらさを抱えたがんの患者さんとそのご家族を総合的に支えるケアのことを言います。

今回のがんフォーラムでは当院の緩和ケア専従医である竹井主任医長と緩和薬物療法認定薬剤師の岡本部長が皆さんに分かりやすく緩和ケアについてお話させていただくと共に、緩和ケアの第一人者でもある日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長柏木 哲夫氏をお迎えして特別講演を行います。

ぜひ、皆さんお気軽にご参加ください。緩和ケアについて一緒に学びましょう。



昨年のがんフォーラムの様子

日時 平成24年8月25日(土) 午後1時30分～4時

会場 芦屋市民センター ルナ・ホール

※参加費は無料となっております。

第1部

座長：市立芦屋病院 診療局長 西浦 哲雄

「市立芦屋病院 緩和ケア病棟開設およびこれからについて」

市立芦屋病院 緩和ケア内科 主任医長 竹井 清純

「緩和ケア治療の実際 ～身体の痛みと痛み止めについて～」

市立芦屋病院 薬剤科部長 岡本 禎晃

第2部

座長：市立芦屋病院 病院長 金山 良男

《 特別講演 》

「緩和ケアとユーモア」

学校法人 金城学院 学院長

日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長 柏木 哲夫

緩和ケア病棟ボランティア募集!!

新設された緩和ケア病棟で、患者さんのお世話をするボランティアさんを募集しています。未経験の方でも大丈夫!ボランティアについての研修も実施しています。

時間 10:00～16:00(2交代制もあり) **募集** 10人

お申し込み & お問い合わせは…

市立芦屋病院 看護局 0797-31-2156(代表)

みなさんの参加をお待ちしています!!



7月

院内の催し・各教室のご案内

芦屋病院 マチネーコンサート

- 日時** 7月8日(日)14時30分～
場所 外来ホール 黄色いピアノ前
出演者 猪瀬千裕 金澤佳代子(ピアノ)
問い合わせ 総務課



黄色いピアノ13周年おめでとう!

黄色いピアノが当院の外来棟にお目見えしてはや13年が経ちました!
 今月はピアノへのねぎらいと新病院オープンを兼ねて、元気いっぱいのお祝いコンサートを開催します!!
 ぜひ皆さんご参加ください。



芦屋病院公開講座

- 日時** 7月14日(土)14時～15時30分 **会場** 市民センター401号室
内容 頻度が高く、腹痛を伴う外科疾患～虫垂炎、胆石症、腸閉塞～
講師 外科医長 田守 登茂治 **受講料** 200円
申込み 直接会場へ **問い合わせ** 芦屋市立公民館 (TEL)35-0700

芦屋市健康教室

- 日時** 7月25日(水) 15時30分～16時40分
場所 芦屋市保健福祉センター3階 多目的ホール
内容 子宮頸がんワクチン接種 **講師** 事業管理者 佐治 文隆
受講料 無料 **申込み** 直接会場へ **問い合わせ** 地域連携室

医療よろず相談

- 日時** 毎週火曜日 10時～12時
場所 市役所南館1階 エレベーター横
内容 芦屋病院看護師による医療よろず相談(相談無料・秘密厳守)
問い合わせ 看護局

両親学級

- 日時** 7月14日(土)10時～12時 **場所** 3階東病棟
内容 お産の経過・赤ちゃんのお風呂
対象 妊娠22週以降の妊婦とパートナー・5組
問い合わせ 産婦人科外来(電話は13時～16時)

各種講座、イベントは毎月開催しています。最新情報はホームページをご覧ください。

Pick up

職員主催の演奏会「ほのぼのコンサート」を開催します!



芦屋病院では主に入院患者さんのための院内コンサートを毎月第1水曜日午後5時20分より、病棟1階エントランスホールで行います。職員有志で行うコンサートで最初は演奏者も職員だけです。今後は患者さんやご家族と一緒に演奏していただける方を募集したいと思っています。幅広い年代の方が一度は聞いたことがある曲を気軽に聞いていただけるよう企画しています。音楽を通してより親しみやすい病院になればと考えています。

災害対応型の自動販売機が
設置されました!!

病棟地下1階に災害対応型の自動販売機が設置されました。地震などの大規模災害時に飲料を無料で提供する紙コップ式の自動販売機で、約800カップの提供が可能です。缶・ペットボトルの災害対応自動販売機はすでに普及が進んでいますが、カップ式は全国の自治体で5例目であり、関西圏では初めてとなります。
 災害時には水やお湯の提供も可能で赤ちゃんの粉ミルクを作ったり、薬を服用したりする際にも使えます。

外来待合サロンで
本を貸出ししています!!

7月2日より外来棟3階の待合サロン(コンビニ前)でボランティアによる本の貸出しを行っています。診察や検査の待ち時間に利用して頂くことはもちろん、本を持ち帰り、次の来院時に返却してもらうことも可能です。
 いろんな本がそろっています。ぜひご利用ください。



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

バックステージツアー

東京築地市場のガイド付きツアーに参加しました。人気が高いため最近入場制限がかかったという場内市場のセリはあいにく見学できませんでしたが、DVDを使ってレクチャーを受けた後、セリ終了後の場内市場と場外市場を見学しました。築地市場は世界最大級の規模の卸売市場で、広さは後楽園球場五つ分、マグロのセリで有名な水産物を中心に青果や鶏肉・鶏卵等も扱っています。発泡スチロールのトロ箱がところ狭しと並び、水浸しの通路を360°回転可能な電動台車が猛スピードでミスマシのように駆け抜けます。サメの心臓や巨大なタコの卵などが調理法を知らない食材も沢山あって、興味津々でした。もっとも店員に気軽に声をかけて訊けるような雰囲気ではありませんでしたが。

その点、場外市場は一転して買い物客で溢れ、外国人観光客も多く、賑やかな呼び込みの喧噪を楽しめました。食料品はもちろんのこと、ありとあらゆる種類の店が並び、ガイドの話で「築地には競馬場と墓場以外は何でもある」と言われるゆえんです。かまぼこなどの焼り物屋、卵焼きの店、佃煮屋、乾物屋、お菓子屋などがどんどん試食させてくれ、新茶の試飲も出来るなど、一巡りすれば口も舌も満足します。安くておいしい寿司屋は何処も長蛇の列です。ツアーは「春の特選寿司ランチ」付きでしたので、旬の魚介を食したのちに、太口握り、アワビの握り、そして卵焼きでめめ、という料理に堪能したのは言うまでもありません。

お江戸東京の台所を担ってきた築地市場は、東京都民の裏方のような存在で、ツアーはいわば舞台裏見学です。舞台裏と言えば、30年くらい前に訪れたハリウッドのユニバーサルスタジオのバックステージツアーを思い出します。実際に映画撮影が行われているスタジオをトラムに乗って見学することが出来ました。「ジョーズ」や「サイコ」などのセットが再現されていて、ジョーズに襲われるアトラクションもあります。運が良ければ大スターに遭遇することも可能とのことですが、残念ながらそのようなチャンスはありませんでした。しかし映画とくに洋画が好きで、高校時代は映画館に入り浸って年間100本も鑑賞していた私にとっては、あこがれのスタジ

オツアーにワクワクしたものです。その後、2008年に大火災が発生、スタジオの歴史的なセットが消失してしまいました。同時に燃え尽きた倉庫に保管されていたフィルムは、コピーがあったので実害がなかったのが不幸中の幸いでした。

芦屋病院におけるバックステージツアーとも言えるのが、毎年市内中学生有志がやって来る「トライやるウィーク」です。研修先に病院を選ぶ中学生は、医師、看護師、薬剤師を夢見る子供達や、家族の誰かが入院生活を送った子供達が多いようです。朝礼での自己紹介で「トライやるウィーク」の幕が開きます。学生達は一週間院内各所でみっちり医療現場を見学し、時には実習をします。後日、学校から送られて来る感想文集を読むのも私たちの楽しみです。学生達はまず、普段決して入ることの出来ない場所を見学出来た喜びと驚きを素直に述べています。また病院が想像していた暗いイメージと異なり、笑い声も聞かれる明るい職場だと一様に認識を改めています。映画やテレビドラマではない本物の手術見学も印象的です。

手術室での手洗い実習、ガーゼカウント、薬剤科での薬の個包装実習、栄養管理室でアレルギー患者用おやつ作り、リハビリテーション科の車いす操作、放射線科でのCTやマンモグラフィー見学など、いずれも新鮮な体験への喜びに満ちています。なんとと言っても、病院が診察や手術などの表舞台だけでなく、医療を支えるために多くの職種の人々が、地味な仕事をしていることに驚いてくれるのは嬉しいことです。まさに私たちの目指すチーム医療を子供達が理解してくれたと思います。何よりも良かったのは、「患者さんからの『ありがとう』のひと言がこんなに嬉しいとは思わなかった」との感想です。

「ありがとう」と言っていただけの病院作りに励みます。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内

----- 交通案内 -----

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

- タクシー 約5分
- バス 約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい(無料)

編集後記

芦屋病院と共に広報誌をリニューアルさせて頂きました。新しい広報誌は「HOPE Plus (ホープ プラス)」です。これまで以上に皆さんに分かりやすく見やすい紙面作りに心がけ、HOTな情報の発信に取り組みます。今後も市立芦屋病院の広報誌「HOPE Plus」を宜しくお願い致します。



日本病院機能評価機構 認定施設 (ver 6)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>